

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立広中央中学校)

- ① 教科等 特別活動 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 「学級目標を決めよう！」〈学級活動(1)〉
- ④ 本時の目標 学級目標を決めることを通して、自らの考えをもち、他者の意見も尊重し合いながら考え、協力してよりよい学級生活を築いていこうとする態度を育てる。
- ⑤ 学習の流れ (全1時間)

| 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準〔観点〕 (評価方法) |
|---|---|---|
| 1 議題を確認する。 | | |
| 自分の考えをもち、お互いの意見を尊重し合いながらよりよい学級目標を考えよう。 | | |
| 2 個人の意見を決定する。 ①ブレーストーミングを活用して思いついた自分の考えを付箋紙に記入する。 ②K J法を活用して自分の考えを整理し、決定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを理由とともに明確にし、他者の意見を尊重しながら、学級の意見をまとめていくことを確認する。 ・付箋紙に目指したい学級像を記入させる。 ・記入した付箋紙で関連しているものをグルーピングし、タイトルをつけさせる。 ・グループにしたものの中から1つ選択し、その理由を整理させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員として、互いの意見を尊重しながら、よりよい学級目標を考えている。 〔集団や社会の一員としての思考・判断・実践〕 (発表、ワークシート・振り返りシート) |
| 3 班での意見を決定する。 ①班で個人の意見を出し合う。 ②班としての学級目標の案を決定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に理由も述べるように指示する。 ・個々の意見で関連しているものをグルーピングし、班での学級目標の案を決めさせ、その理由を整理させる。 | |
| 4 学級目標を決定する。 ①各班からの意見を発表する。 ②学級目標を決定する。 ③決定事項を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各班の意見を、根拠を明確にしながらか発表させる。 ・各班の意見を組み合わせたり、共通点を整理したりするなど、ワークシートを活用しながら、互いの意見を尊重しながら集団決定させる。 | |
| 5 自己評価・振り返りを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の話し合い活動を通して気づいたことや考えたことなどを、振り返りシートに記述させる。 | |

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自分と他者の意見の違いに気づき、他者の意見を尊重しながら、学級目標を考えることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 学級目標について個人思考する際に、思い浮かんだことをできるだけ多く出しながらか、自己決定するために、ブレーストーミングを活用する。
- 互いの意見のよさや特徴を大切にしながら思考を整理するために、K J法を活用する。
- 集団決定の際に互いの意見を整理するためにワークシートを活用する。